

Q

コロナ禍でも「しあわせ
共感の鶴ヶ島」を

おあた
ただよし
太田 忠芳 議員



A

第一 市民の命と生活を守ることが

問 新型コロナウイルス感染症対策の現状、望ましい拡大抑止策、今後の検討課題は。

答 行政サービス提供時の感染防止と市民自らの感染対策への支援の二つの観点から取り組んでいる。感染拡大防止には、有症状者を早期治療と早期療養につなげる施策が重要と考えている。今後も、ワクチン実用化の際に接種を速やかに実施できる

よう、関係機関との調整を図る。暮らし・営業支援策は。

答 緊急小口資金特例貸付などの貸付、住居確保給付金、ひとり親世帯への臨時特別給付金など、困窮する方に対する支援策がある。また、市独自の支援策を実施している。

問 コロナ禍による総合計画への影響、市民生活に現れた困難・困窮の実態、「しあわせ共感」



鶴ヶ島市社会福祉協議会

Q

市の台所事情と臨時
財政対策債について

すぎた やすゆき
杉田 恭之 議員



A

若年世代の転入・定住促進で
市税収入を確保する

のための施策とその財源は。
答 感染症対策や生活支援策を優先して実施し、優先度の低い事業は、先送りや中止で対応した。市民生活では、収入の減少や失業の増加などの影響が表れていると考えている。「しあわせ共感」のためには、市民の命と生活を守ることが第一と考えており、国の交付金、財政調整基金などの活用や事業の見直しで財源を捻出して対応した。

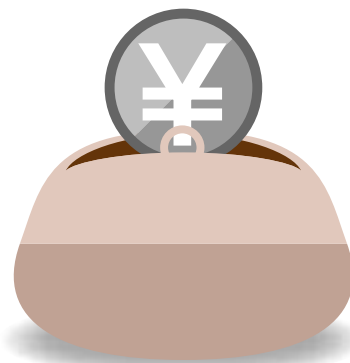
問 自主財源と依存財源について。

答 自主財源は、市税、手数料、財産収入など、市が自主的に調達できる財源である。一方、依存財源は、国庫支出金、県支出金、地方交付税など、国や県から交付される財源である。

本市では、幼児教育・保育の無償化などの国の政策を受けた国庫支出金及び県支出金が増加傾向にあり、依存財源の比率が高まっている。

問 交付税の種類について。

答 地方交付税は、普通交付税と特別交付税の二つに分けられる。普通交付税は、自治体間の財政不均衡を是正するために、



基準財政収入額と基準財政需要額の差額により算出される財源不足額補填のため交付されるものである。また、特別交付税は、震災や特殊な財政事情がある場合に交付されるものである。

問 歳入増に向けての政策は。
答 自主財源の根幹である市税収入の確保が重要になる。若い世代の転入・定住の促進や企業誘致の推進を図りたい。このほか、市税以外の自主財源の確保に向けた取組を引き続き進める。また、依存財源である国庫支出金及び県支出金などの情報収集を徹底し、その確保に努める。